

# 令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 青葉 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

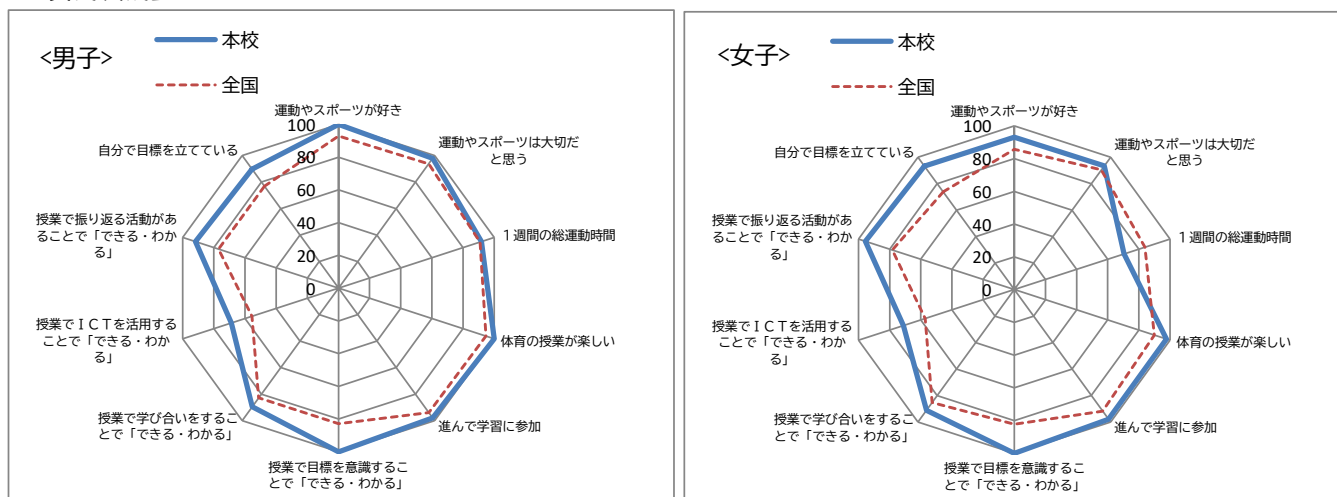
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.99	40.61	46.91	9.48	151.16	20.51	52.60
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目	16.6	22.5	41.7	49.3	58.3	8.9	166	25.5	61

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.02	18.05	38.47	38.74	36.81	9.71	144.34	13.22	54.29
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目	15.7	20.6	42.3	44.8	43.8	9.4	155.3	14.3	60

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

男子はすべての質問項目において、数値を上回ることができた。女子は、1週間の総運動時間が数値を下回っている。本校児童は、運動好きな子が大変多く、中休みや昼休みは運動場でボール遊びやおにごっこなどで遊んでいる。放課後の運動時間については、運動クラブに所属している割合は高い割には、運動や遊びで体を動かす児童が多い。治安が良い地域性と比較的近距離に大きい公園が点在している環境が体力向上につながっていると考えられる。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

女子の握力以外は全て全国平均を上回ることができている。体育の学習においては、市から配布されている「すきっチャップログラム」を活用し、単元ごとに主運動につながる類似運動から流れを組み立てている。器械運動(マット・跳び箱)・陸上運動・球技など、それぞれに必要な高めるべき能力を子どもに提示して、学習を進めている。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ①季節に応じた適切な距離と強度の持久走・すきっチャップログラムの活用する。
- ②スモールステップや教えあい活動など、子どもの運動有能感を高める場づくりなどを工夫する。